

地域コミュニティ会議実施結果（意見抜粋）

よいところ

- 見守り隊の活動が活発である（那加一・那加二東部・稲羽西・稲羽東）
- 顔の見えるご近所づきあいができている（全地区における一部の地域）
- 転入者や子どもが多く、活気がある（川島・鵜沼第1・鵜沼第2）
- 地域の行事が盛んであり地域の事を考えてくれる人が多い（那加三）
- いろいろな経歴を持つ豊かな人材、多様な趣味や能力を持った人がいる（尾崎・八木山）

地域の課題

- ごみ出しが困難な方がいる（全域）
- 高齢化により買い物や通院に困る（尾崎・鵜沼第3・蘇原南部）
- 空き家が増えてきた→空き家の草木が伸びている、高齢者宅の草木の手入れが大変である（那加三・稲羽東・陵南・緑苑・蘇原北部）
- 困りごとに気づけない、近所の高齢者のことが心配だけどよくわからない（那加二東部・蘇原南部）
- 地域活動の担い手不足、自治会未加入者が増えた。高齢化により機動力のある人が減ってきた（全域）

解決の方法

- 隙間時間でできることを見つける。地域でのご近所のつきあい等を「見える化」する（八木山）
- 複数の自治会で行事・イベントを合同で行うことで役員負担を軽減する（那加二東部）
- 地域役員（自治会・民生委員・近隣ケアグループ）が連絡を密にする（蘇原南部）
- 困りごとは個で対処せず、自治会・民生・近隣ケアで共有する。空き家マップをつくり防犯意識を高める（那加三）
- チョイ散歩であいさつ。まず自分がボランティアをして周囲に誘う（川島） 買い物するものがないか聞く。一緒に行こうと誘う（稲西）
- ボランティア隊を組織する（稲東） 買い物ツアーを行う（尾崎）